



— 笑顔あふれる明るい未来を目指します —

怱 心をつむぐ あしたを織る



↑ HP

2025 年夏号発行

編集発行：公益財団法人あすて 豊田市本町本竜 43 Ⅱ (0565) 52-0362



# 丘KOBAPROJECT 1期目後半戦スタート!



「丘KOBAPROJECT」は、2004年からの「なぜ?なぜ?プロジェクト」2014年からの「クルマづくり究めるプロジェクト」に続いて、豊田市との共同事業として2024年度から始まりました。自動車関連企業のプロとこどもが未来のモビリティを想像し、モビリティ製作に関連する知識・技能・技術を学びながら、夢をカタチにしていく事業です。



↑ 丘プロ HP

## 各社紹介

2年で一区切りの「丘KOBAPROJECT」は、2025年度が後半戦になります！ 試行錯誤の末に夢のモビリティが形になっていく姿を是非応援してください！

社名：ミニ化ー&エコ化工房社  
テーマ：近距離イージーモビリティ



社名：E-moco社  
テーマ：救急搬送モビリティ



社名：太陽精機社  
テーマ：ソーラーカー〔電動車〕



社名：PEFIC社  
テーマ：旧車とエコの融合モビリティ



## ★★ 2期目 “未来のモビリティ” 社長募集中! ★★



新事業



カンボジアのこども達に自転車を



おもいをツナグ

# ASIA CYCLE PROJECT



経済的理由から自転車を持たず通学に苦勞するカンボジアのこども達のために、2025年度より乗らなくなった自転車を一般から寄付していただき、それを丘プロマイスターが中心になって修理をし、届けようという活動を開始しました。この活動はみなさんの想いをつなげるべく、「アジア サイクル プロジェクト」と名づけられ、第1便は12月に10台を発送する予定です。

多くの方から乗らなくなった自転車 25台をご寄付いただきました



丘プロマイスターが修理した自転車を船便でカンボジアへ送ります



自転車は現地協力団体により必要としているこども達に届けられます





# 地球温暖化に 대응する土作り 実証実験中

## 枯竹×微生物＝豊竹 SOIL (農作に適した肥沃な土)

— CO<sub>2</sub>固定、保水、水はけ、栄養、連作可能など植物の生育に理想的な土 —



竹林は、竹が道具の材料だった頃は、その近くに人が住みましたが、今では荒廃の一途をたどり厄介な存在となっています。しかし、伐採して燃やせば二酸化炭素を排出し、地球温暖化の原因になります。あすてでは、枯れた竹まで含めた 100% をチップにして手を加えることで、地球にやさしい資源として利用する方法を探ろうと、いろいろな機関と協力しながら実証実験をしています。

昨年 11 月からスタートしたこの活動は、①豊竹 SOIL 作り ②舗装 ③防草の 3 部門。今回は新年度から新たな動きのあった「豊竹 SOIL」についてレポートします。



▲昨年 11 月、竹 80 本分 2.4t チップ搬入。 ▲定期的な水やりと攪拌により硬い竹も分解する微生物を噴霧



▲定期的な水やりと攪拌により熟成促進



### ▼苗の生育比較

容器：竹製プランター2 基  
苗：トマト、キュウリ、オクラ  
手順：各々一般土を土台にして表面 15 cm に①豊竹 SOIL ②畑土を敷き詰め、苗を定植(5/9)



▲豊竹 SOIL のプランター ▲畑土のプランター

豊竹 SOIL 区は初期から生長がよく、各作物とも濃い緑色を呈し、畑土区と比べると大きく差が出た。豊竹 SOIL には肥料は全く入っていないが、有機物が分解して窒素成分などが溶出するようで、それが生長に影響したようだ。

1ヶ月後 (6/9)



4-① 定植(5/9)



4-②

定期計測：  
地表温度  
地中温度  
含水率、PH  
苗の丈  
茎径、葉長

▲実験用苗(トマト、キュウリ、オクラ)  
①豊竹 SOIL ②畑土で生育比較

出場者募集!

※切 7月31日

# AKIKAN CUP 2025



参加費無料!

※製作費自己負担

## シニアロボットコンテスト (60歳以上)

培ってきた技能・技術を活かしてみませんか?

2025年 11月 15日(土) 10:00~13:00

●出場ルール・申込み：あすてホームページより

●問合せ：担当・髙下 (だけした) ☎0565-52-0362 または

✉astesun@aste-toyota.com

Check!



あすて HP



PR 動画